

報道関係各位

石油資源開発株式会社

Tel: 03-6268-7110 (広報代表)

<https://www.iapex.co.jp/contact/>

インベスト・アルバータ社とエネルギー市場における事業創出協業に関する覚書を締結 ～カナダ・アルバータ州においてカーボンニュートラル分野での事業創出を模索～

石油資源開発株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤田 昌宏、以下「当社」）は、カナダ・アルバータ州において持続可能な社会に向けた事業創出を模索するため、アルバータ州政府の投資誘致機関であるインベスト・アルバータ社（Invest Alberta Corporation、以下「IAC」）と協業する覚書（以下「本覚書」）を締結しました。

アルバータ州はカナダのエネルギー市場の中心地であり、州政府によって設立された IAC は、同州での起業や事業創出・拡大を目指す企業や投資家に対し、個々のニーズに合わせた質の高い支援を行う北米有数の投資誘致機関です。本覚書は、当社が持つ CCS (Carbon dioxide Capture and Storage: CO₂の回収・貯留) / CCUS (Carbon dioxide Capture, Utilization, and Storage: CO₂の回収・有効活用・貯留) と国内外における E&P 事業の豊富な経験と専門知識を活かし、アルバータ州での当社事業の創出について IAC と協業することとしたものです。

当社は、現地市場や投資環境に関する深い知見を持つ IAC の協力のもと、アルバータ州において①CCS/CCUS、②BECCS (Bio-Energy with Carbon dioxide Capture and Storage) *、③ブルー水素・アンモニアにおける事業創出を目指し検討を進めます。

当社は、2050年カーボンニュートラル社会の実現に向けた「JAPEX2050」において、CO₂圧入・貯留技術を核としたネットゼロ達成へ貢献する分野の事業化を、注力する取り組みとして掲げています。本覚書を通じて、これまで培った技術や経験を活かせる事業を創出し、世界的な2050年のCO₂実質排出量ゼロ（ネットゼロ）に貢献する機会を模索します。今後も国内外におけるカーボンニュートラル分野の事業化を目指した課題の解決や事業の実現により、時代に合わせた「総合エネルギー企業」としての成長と企業価値のさらなる向上を、引き続き目指してまいります。

以上

注)

*: バイオマス発電と CCS を組み合わせた技術のことで、発電時における大気中の CO₂増加量を実質ゼロにするとともに、燃焼時に発生する CO₂を回収・貯留することで、発電時に発生する CO₂排出量を実質ゼロ以下にすることができる。

(参考写真)



契約締結を記念するフォトセレモニーのようす

(参考：上記写真中の登壇者氏名、左端から)

IAC 最高執行責任者 キース・ブラッドリー

当社 海外事業第二本部長 山田 知己

###